

# 画工作科の授業 モデルプラン

〈鑑賞 01〉

美術作品の鑑賞 [5年生]

授業者 真亀小学校 中川 智美

題材名: 絵から感じたことを、根拠を基に伝え合おう

鑑賞の対象: 作品「四季」(ジュゼッペ・アルチンボルド)

本時のねらい: 作品の鑑賞を通して、根拠を示しながら形や色などの造形的な特徴を基に自分の見方や感じ方を深める。

## 出会い (導入)

○各季節をイメージする言葉の共有



個人で

友達と

○実寸大の作品 4 枚を提示



本時のめあて  
絵の中から季節のヒントを見つけよう。

## 展開



「季節が分かるところを見つけよう。」

【4枚の中から、好きな1枚を選び、鑑賞活動を行う。】

### 〈個人で〉



拡大して細部まで  
確認する。



気付きを書き込む。  
色分けをする。



〔ヒント〕  
アート言葉カードをヒント  
に、気付きや思いを言葉  
にする。

### 〈グループで〉

同じ絵を選んだグループで  
話し合いながら、作品の  
拡大図に気付きを書き込み  
その作品の季節について  
考える。



### 〈全体で〉

それぞれの考えの  
共有と比較



「同じ絵でも、注目する部分が違うと、違う季節だと考える  
グループがある。次は、4枚の絵を比較して考えてみよう。」



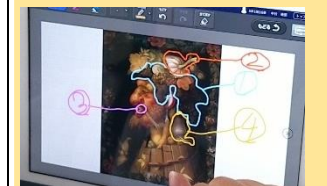
## まとめ・振り返り

○1つの作品でも絵によっ  
て、人によって、感じ方が  
違うことや面白さがあるこ  
とに気付く。

### POINT



児童が関心や親しみをもてる作品  
選び



気付きのナンバリング等の、言語  
活動を充実するための手立て